

校歌

(昭和五十二年制定)

作詞 草野 心平
作曲 清水 脩

一 紺碧に 空晴れ渡り

見はるかす吾妻安達太良
信達の広瀬の地に

われらが母校 聳え立つ

夢あふる 若人我等

新しき 文化創らん

福島北高 永遠に栄えあれ

二 四季めぐり 時は過ぎゆく

春は花色の曼陀羅

冬は雪まぶしき光

われら歴史を 担いつゝ

進みゆく 険しき道を

さればこそ 未来は開く

福島北高 永遠に輝け

応援歌

作詞 秋山 政一
作曲 佐藤 宏一

一 あづまの嶺にかかげ来し

錬磨のわざを今ここに
ほこりときそうわが選手

見よ摺上の名にはじめ

勝抜かんな わが選手

われらが選手 フレフレフレ

二 阿武隈川の水しづき

鍛えしまこと今ここに

命とまもるわが選手

きけ摺上のかちどきを

勝抜かんな わが選手

われらが選手 フレフレフレ

校章の由来

(昭和五十四年制定)

校章は、銀杏を図案化したものである。

根はしっかりと大地をふまえ、幹はまっすぐに天を指さして逞しい。柔らかな新緑からまばゆいまでの黄葉、落葉した枝ぶりまで気品がみなぎっている。

北高が逞しく発展し、気品ある高校への期待をこめている。

